

ワシオ商会

「ブライト500」に認定

企業発展に社員の健康重要

建設資材、建設用機械の販売・レンタル・修理などのワシオ商会（本社Ⅱ会津若松市、鷲尾伸一代表取締役）は今年度、日本健康会議の「健康経営優良法人」で県内189社の上位10社に与えられる「ブライト500」に認定された。会津地方では会津土建と社員の栄誉。

同会議が進める健康増進の取り組みを基に、特

に優良な健康経営を実践している法人を顕彰するもので、5回目の今回に、全国の中小企業法人部門の上位法人を「ブライト500」として認定した。同社は喫煙対策に力を入れており、2016年に社屋新築を機に敷地内を全面禁煙とした。改正健康増進法が施行された2020年4月よりも早い取り組み。社員の禁煙外来受診の費用も会社で負担し、禁煙できた社員を表彰することで、現在の喫煙者は全



健康経営担当の
鷲尾取締役

福島県建設工業新聞

二〇二一年三月三十一日掲載

体の10%程度まで低下している。

また社員の健康診断で

は、2次健診が必要となった社員に診断書の提出を義務化。「要治療・要精検」と診断された社員には、医師と面談の上、医師の意見書を提出させている。

は、費用を会社で負担し、全員接種を実現している。

新しい取り組みとして、昨年初めて社員対象の健康セミナーを開催。これから毎年取り組みたいという。健康経営担当の鷲尾一美取締役は「健康経営は社員を大事にするのが主旨だ。会社の存続や発展には社員の健康が重要。他社の長所を取り入れ、今後は運動不足解消や食事の栄養バランスに関する取り組みを考えた」と話した。

このほか毎月の給料明細書に運動や食事等に関するチラシを同封し、社員の健康意識向上へのきつかけづくりに取り組んでいる。インフルエンザウイルスワクチン接種